



西前小だより



横浜市立西前小学校 Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/nishimae/>

ひと言のおもさ

校長 鳥飼 信幸

少しばかり気が早いかもしれませんが、12月号なので。みなさんにとって、今年とはどんな1年間だったでしょうか。コロナは依然として続き、ご苦労されることが多いと思います。そうした中ですが、仕事、生活、夢の実現など、いろいろな視点でふりかえり、よかったことも、よりよい毎日を歩むための糧にさせていただくとよいと思います。私も、自分はどうであったのかを、今年1年間の自分を、メタ認知をはたらかせふりかえります。

教師としての私をふりかえると…。

6年生の担任をしていた時のエピソードです。私が20代の時の出来事です。3回目の6年生の担任をした時になります。未熟で、子どもたちと保護者、地域、先輩の先生方に支えられていたことも感じていない時期だったと思います。

「先生は男で運動も得意、活発そう…ラグビーをやっていたと聞いた」「私たちが力で押さえつけて従わせようとするんじゃない…」6年生の担任発表の日、初めて出会ったAさんが、ぼそっと友達に話していたひと言。「これから始まろうと期待をもって臨んだ日なのに…」「頑張っていこうとする気持ちが分からないかなあ…」と、内心思いました。

次の日、Aさんどころか、子どもたちは私に口を開こうとせず、会話は全くできませんでした。次の日もその次の日もその状態は続きました。全員へ語りかけても返答がありません。ただ今まで通り、子どもたちと一しょに活動したり、一しょに走り回ったり、一しょに雑巾がけをしたり、一しょに机と椅子を並べたりしました。ひたすら子どもたちが心を開いてくれることを願っていました。

一週間が経ち、通勤前に何気なく名簿に目を向けると、話はしてくれないけれど、一度も声を聞いていない子がいることに気がきました。心を開いてくれることを願っているばかりでは何もかわるわけはありません。相手ではなく自分から動き出さないと…。「まず、自分から一人ひとりに今まで以上に積極的に話しかけていこう」と、行動を始めました。

話しかけることを続け、3週間が経った校外学習の日、写真を撮る時に、「一緒に写真撮ろう」と、Aさんが、おとなしく引っ込み思案で友達と距離をおいていたBさんに声をかける姿に気がきました。その姿を見た私は「優しいね」と、

ひと言だけ声をかけました。Bさんが孤立していることを心配してただけに、Aさんの姿をみて素直にうれしかったからです。これをきっかけにクラスの一人ひとりをもっと「みて」（子どもを見て・観て・診て・着て・視ての意味を込めています）、小さな優しさを見つけ、みんなに伝えることを続けました。

「優しいね」のひと言を聞いたAさんは、「こんな単純なことでもいいのか」「小さな優しさ」「さり気ない行動」「こんなことまで先生はみてるんだ」「これぐらいならいつでもできる」「誰でもできる」と、後日話してくれました。それからAさんは「友達に声をかけることに抵抗感がなくなり、声をかけると友達同士のかかわりがよくなってきて、くだらないことを指摘し合うことがなくなってきた」「みんなで話すことで何でもできると思うようになってきた」とも話してくれました。

しばらくして、Aさんは「先生に、いちいちアピールしなくてもいい」「小さなことでも認めてくれる」「背伸びしなくてもいい」「自分らしく行動してもいいから楽だ」と思うようになったと話してくれました。それからなぜか、みんな、私が話すことを聞いてくれ納得してくれるようになりました。「先生の機嫌を気にしなくていい」「怒鳴らない」「先生は俺たちにレッテルを貼らない」「押しえつけない」「理由を聞いてくれる」「俺たちを信用してくれる」「なんかおもしろそうなことをやってくれそう」等々話してくれました。「そんなに褒めても何も出ないよ」「そんなにいい先生じゃないし…」と、言うといい先生って言ってないよと言われ、「そうだ、そうだ」と、みんなで大笑いしました。「俺たちといっしょに遊んでばっかじゃん」「勉強もいっしょにやってるじゃん、先生なのに」と言う子もいました。子どもといっしょに過ごし、いっしょに考えていく授業をしていました。Aさんたちは私がどんな先生なのか試していたわけです。

担任発表の日、Aさんの言われたひと言が、教師としての自分の未熟さ、子どもに寄り添う気持ちの大切さを感じさせ、「3回目の6年の担任だから」という驕りなど、私が変わるきっかけ進化するきっかけを与えてくれました。あの日も、担任の私がAさんに教えられました。クラスの子どもたちにも。

心を開いてくれたときに、子どもたちに「どうして話してくれなかったの？」と語りかけました。「自分たちは否定され、いつも怒られてばかり」「いついじめられるかとビクビクしていた」と、本音で話し出しました。泣きながら話し出す子もいました。よっぽど悔しかったのか、苦しかったのか、嫌だったのか、つらかったのか…。実は優しい心をもった子どもたちばかりでした。それに気付かずいたのだと感じました。

Aさんやクラスの子どもたちの多くは、前年度、私が6年生の担任だったことを知っていました。一つ上の学年の子どもたちのこともよく知っていました。その学年の子が小さい頃からいろいろあったことも…。だからこそ卒業式の練習前、5・6年生が一緒に集まった時に、「静かにしろ」「この先生の話聞け」と、怖そうな6年生が大きな声で言ったことがあり、

そのことを思い出し、「きっとこの先生はもっと怖いんだろうな」と思っていたそうです。その前の前の6年生は、もっと、もっと、もーっといろいろなことがあった子どもたちで、そのことも知っていました。なにより私の第一印象がよっぽど悪いんですね。ラガーマンはそういうものです。

今、Aさんは「先生に教えられたことを今やっているだけ」と言ってくれます。どちらが先生でどちらが教え子なのかよく分かりませんが、Aさんは教師となって当時のことを語り合う仲間となっています。

教師になって私の心を揺さぶる教え子のひと言を載せました。まだまだ教え子からのひと言で心を揺さぶられたことがたくさんあります。

ひと言によって、自分をみつめ直し、自分を成長させるチャンスとして捉えていくこともできます。子どもからのひと言であっても…。

まだまだコロナ禍は続きます。学校では制限がかかっている状況も続いています。創意工夫しながら教育活動を行います。また、感染予防も引き続き取り組んでいきます。

今後とも本校の教育活動にご支援ご協力をお願いします。

学校ホームページへのアクセスはこちらから →



令和4年度 12 月		学 校 行 事 予 定		予定は変更されることもあります。 下 校 時 刻					
日	曜	行 事		1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	全学年5校時		14:40					
2	金	にぎわい座(4年) 人権キャラバン(5年)		14:40			15:30		
3	土								
4	日	人権週間(～10日)							
5	月	朝会	委員会活動	14:30				15:30	
6	火	横浜子ども会議		14:40			15:30		
7	水	全学年4校時 特別時程		13:15					
8	木			14:40		15:30			
9	金	ポッチャ教室(3年)		14:40			15:30		
10	土								
11	日								
12	月	クラブ活動		14:30			15:40		
13	火	短縮時程5校時 6年、4、5組面談①		14:15					
14	水	4・5組平沼小交流 代表委員会 人権キャラバン(1年)		13:40	14:40				
15	木	集会	短縮時程5校時 人権キャラバン(3年) 6年、4、5組面談②	14:15					
16	金	短縮時程5校時 6年、4、5組面談③		14:15					
17	土								
18	日								
19	月			14:30					
20	火			14:30			15:30		
21	水			13:40	14:40				
22	木			14:40		15:30			
23	金	特別朝会 給食終了 授業最終日		14:40					
24	土	冬季休業開始(～1/9)							
25	日								
26	月								
27	火								
28	水	閉庁日(～1/5)							
29	木								
30	金								
31	土								
お願い		お願い		1月の予定					
12月24日(土)から1月9日(月)までの17日間は休業です。休業中は、ご家庭でも引き続き健康観察等、宜しくお願いします。 13(火)15(木)16(金)は、6年生と4、5組の希望者面談日です。詳細は、配付済みのプリントをご覧ください。		佐藤久子カウンセラー来校日 12月 2日午後(金) 12月 9日午前(金) 12月16日午後(金) 予約相談窓口 児童支援専任 白石貴男教諭		1/10(火) 授業開始日 1/11(水) 給食開始 1/12(木) 書初め 1/13(金) 書初め 1/16(月) 委員会活動 1/17(火) 書初め展開始(～31日) 1/23(月) クラブ活動					